

キャラクター名
ブギーマン

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル		ワークス	レネゲイドビーイングB	カヴァー	謎のレネゲイドビーイング
	エグザイル					
オプション			年齢	??	性別	男
覚醒	生誕	衝動	飢餓	初期侵食率	33	%
出自	ウォッチャー	経験	殺戮の日々	邂逅	契約	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	4	0	0			4	行動値	1
感覚	2	1	0	1		4	(非装備時)	5
精神	0	0	1			1	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
日本刀	白兵	4r	3	5		
拳銃	射撃	4r	-	3		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
対BCスーツ	12	4	0	-4	

所持品	
デモンズシード	
プランナーの予言	
ニーベルングの指輪	
ウェポンケース	
聞き耳頭巾	

合計装甲: 4 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
遺産継承者:ニーベルングの指輪	P	N		
プランナー	P 信頼	N 劣等感		
装備品	P 信頼	N 執着		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:	2	2	メジャー					
効果: いつもの								
オリジンコロニー	1	4	マイナー	至近	自身			
効果: シーン中LV個のBDの効果を打ち消す。								
ヒューマンズネイバー	1	2	オート	至近	自身			
効果: 衝動判定のダイス+LV個								
死神の精度	6	4	メジャー	武器		単体		
効果: オールレンジと組み合わせて使用する。攻撃に+LV*5								
オールレンジ	7	2	メジャー	武器		単体		
効果: +LVダイス攻撃								
アージ:異形の捕食者	5	6	オート				120↑	
効果: シナリオ中1回だけHPダメージを-(LV+2)D軽減する。シーン中自身の攻撃の攻撃力は常に+軽減したダメージ分だけプラスする								
ブレインハック	1	10	メジャー	至近		単体		
効果: 憎悪								
異形の転身	1	5	セットアップ	自身		単体		
効果: 戦闘移動を行う								
環境適応	★		常時					
効果: 環境に適応するよ								
鍵いらすの歩み	★							
効果: なんとかかんとか鍵開けます								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

少し投げやりなところもあるが、原則まじめな性格。

歴史の陰に埋もれた暗殺者たちへの畏怖や恐怖から生まれたレネゲイドビーイング。彼の中には群体としての暗殺者たちの魂と彼らに恐怖する者たちの魂が宿っており、彼の周りには蠱の様なナニカが取り巻き、漂っている。

一部地域の支部で正体不明のオーヴァードに着けられるウェンディゴの名前を冠されたレネゲイドビーイング。その実その名を引き受けるに最もふさわしい存在である。

一部地域でウェンディゴの異名が差す通り、彼は過去存在した暗殺者たち、及び彼らに対する恐怖や畏怖などの感情がないまげになって生まれた、概念的な”暗殺者”という存在である。

また元来の意味である怪物ウェンディゴからも多少の影響を受けているようで、彼は暴走時に途轍もない飢えに襲われる。もっとも魂の群体である故か、あるいは化け物からの影響は少なかったのだろうか、彼は彼の魂の一部のみが飢えに苦しむのみにとどまっている。

また、彼が名乗っているブギーマンの名の通り、悪さをするものを可及的速やかに葬るのが彼の存在意義である。

彼は誰かが誰かの死を願ったとき、発生する。些細な思いや願いであれば彼はそのまま消えていくが、強い思いに反応して発生した場合には対象が死ぬまで消えることはない。

また、暗殺者の軍隊であり、魂の群体である彼は常に半自動的に蘇生が行われてしまう。つまり彼が暗殺を実行できずに顕現しつづけてしまった場合、ジャーム化してしまうリスクが無尽蔵にハネ上がっていくといえる。

しかし彼は暗殺者であって虐殺者ではない。罪のないものへの攻撃や、意味のない殺人を好まない彼にとってジャーム化は決して望むところではないのである。